

令和5年度 第9回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和5年12月11日(月)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 堀留 豊
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時40分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

- 1 開会
定刻、定足数に達しており、令和5年度第9回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和5年度第8回定例会会議録の承認について承認
- 3 議事
議案第21号 令和6年度教育に関する予算についての意見の提出について
- 4 その他
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第21号 令和6年度教育に関する予算 についての意見の提出について	令和6年度予算につ いての意見を市長に申 し出るため、その意見 の内容について教育委 員会会議の議決を求め るものである。		

議 事 内 容 等

3 議 事 教育総務課長	<p>議案第21号 令和6年度教育に関する予算についての意見の提出について</p> <p>令和6年度教育に関する予算についての意見について、その意見の内容を説明。</p>
4 その他 教育総務課長	<p>教育振興基本計画の策定について</p> <p>来年度に行われる教育振興基本計画の策定について、同計画の策定要領を説明。</p>
学校教育課長	<p>県優秀教職員表彰について</p> <p>県優秀教職員として表彰された協和小学校の竹下順平先生の表彰理由などを説明。</p>
社会教育課長	<p>垂水海軍航空隊地下壕調査について</p> <p>現在の垂水海軍航空隊地下壕調査の進捗状況を報告。</p>

5 委員並びに教育長及び課長報告

委員並びに教育長及び課長報告に入る。

田原委員

11月15日、市の音楽発表会に参加しました。教育長の話の中にもありましたが、音楽を楽しむという話をされたと思いますが、子供たちもすっかり楽しみながら表現するという姿勢が感じられました。それと牛根小の太鼓ですが、すごくうまくなっていました。協和小の鎌踊りですが、こういう地域の伝統行事であるイベントを継承し、小学生が自信を持って演奏していたので大変頼もしく思いました。年1回の発表会ではありますが、子供たちがお互いの成長を実感するという意味で貴重な場なのかなと思うことでした。

11月21日、人権研修会に参加しました。自分では人権尊重の意識は持っていると思っていますが、最近の性の多様化とか、外国人との共生とか、周りの環境が違ってきているので、講師の先生が言われたように、人権感覚を毎年洗い直して、とぎすますというか、そういう必要があると思うことでした。その意味でいい機会だったと思います。日常生活の中で、男性は、女性は、こうあるべきだというようなものがありました。自分を育ててきた環境の中でこういうのは、刷り込まれているので、なかなか変えるのが難しい部分だと思いましたが、家事なども手伝いという意識ではなくて、一緒にやっていくという意識に変えないといけないと思うことでした。

11月24日、水之上の6年生が白山登山遠足をしました。暖かくて風もなく絶好の天気でした。児童も17人、かなり多かったです。それから先生3人と教頭先生も行かれました。保護者は5名。あちこち写真を撮る人もおられました。そして、いつもこの登山の協力者として、私と山岳会の会長、それから、神社を守っている郷土研究会という水之上の公民館の組織がありその若手が2人、合計29名でした。最近の水小の登山では最も多い人数で、私は先頭で誘導して登って行きました。ワイワイ、ガヤガヤとにぎやかで言葉が途切れることはなく元気がありました。登りで2カ所10分程度の休憩をとりました。非常に急な坂のところでは途中で立ちどまって対列が途切れないように気を配って、登りで約1時間半、下りが1時間、1人の落後者もなく、楽しく登山ができました。頂上に着いたときの子供たちの「わーすごい」という感嘆な声とか、白山神社のいわれを話したところ、おんだんこら祭りとかこれがやっと思ひついたみたいで、おんだんこら祭りは、この白山神社の神様の祭りだよと話したら「ええっ」と、初めて知ったという声を発したので、こちらもびっくりしました。それを聞いて、今日の遠足の意味があったなと実感したところです。

11月25日、瀬戸口藤吉翁の記念グランプリコンサート。文化会館開館30周年記念事業ということで、これまでになかった企画でした。これまでグランプリをとった松陽高校、情報高校、それに垂水小の演奏会でした。演奏前に行列ができる盛況ぶりで人気の高さを実感しました。松陽、情報、両校、大集団な演奏なわけはその迫力に驚きました。彼らも採点を競う大会で演奏するのではなくて、一般の市民を楽しませるという演奏会でしたので、

演目もミッキーマウスのダンスや、演歌を生徒が歌うなど、演奏者も一緒に楽しむ場面もあって、とても楽しい演奏会で大変満足でした。

葛迫委員

私の方は第9回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールです。11月16日木曜日から垂水市文化会館でジュニア部門の搬入受付始まり、19日日曜日には一般部門の作品搬入が行われました。そして翌日20日には鹿児島市内の画材店での搬入作品の引き取りが行われ、合計ジュニア部門372点、一般部門については、北海道、滋賀県、京都府など全国から76点の作品が集まりました。コロナ禍で作品は100点を切って少なくなっていました。来年に向けて、気持ちを引き締めて作品の募集に頑張らないといけないと感じたところでした。11月23日木曜日、向吉文男先生と五反田邦夫先生、そして私、葛迫幸平の3人で審査に当たりました。

残念なことに審査日から3日後、向吉先生が自宅の庭先で、植木の剪定中に倒れてしまわれまして、帰らぬ人となってしまったことがちょっとさみしくなりました。ご冥福をお祈り申し上げたいと思っております。

さて審査では、一般部門が午前中、ジュニア部門が午後から行われ、一般部門は鹿屋市の下泉和子さんの作品「張り付く」が最高賞の和田英作賞に選ばれました。優秀賞、新人賞と鹿屋の方が受賞され、鹿屋市民の上位3賞独占という結果に終わったところ。ジュニア部門については、昨年より参加出品者が増えたこともあり、和田香苗賞の5点は本当に充実した作品となっております。審査員としては非常に安心し安堵したところ。今回の審査において、一般部門においては全員、ジュニア部門については和田香苗賞の作品に、講評を文章にしました。そして展覧会場では、その講評を一人一人、題名、キャプションに明記したところ。またジュニア部分については、全体講評を展覧会会場に張ったところ。一般部門の出品者からは好評を博していました。昨日、10日日曜日に垂水市の文化会館においてジュニア部門の表彰式が9時半から、10時半からは一般部門の表彰式、11時半からは展示会場でギャラリートークを執り行ったところ。表彰式ですが、ジュニア部門ではインフルエンザの影響で数名の児童生徒が欠席していましたが、一般部門の表彰式では北海道を除く全員の方々の出席があり、非常にうれしく思ったところ。遠くは滋賀県、京都府、山口、宮崎県の方々など多くの出品者が会場に来ていただき、本当にありがたく感じたところ。久々の舞台を使っての表彰式を行いました。今までは観客席に受賞者の皆さんがいて、階段を使って舞台上がり表彰されていましたが、今回からはすでに全員舞台上がってもらって、そこから表彰状を受け取るということで、安全性が高くスムーズに表彰式が進んだことから非常に素晴らしい表彰式だったと思いました。10時半からギャラリートークを行いました。表彰式後、すぐ帰られる方が多く見られましたのでギャラリートークを少し早めに始めたところ。70名ほどのギャラリーでしたが楽しく和気あいあいとした場でした。出席者のギャラリートークの反応ですけど、私の心配りがちょっとおかしく、最初の人にすごく時間をとって、最後の人は非常に短くなったので、酷評をもらったところ。

田之上委員

小中学校合同音楽会は牛根小学校のぶち合わせ太鼓で始まりました。全校児童による力強くすばらしい演奏でした。その後プログラムに従い、各学校が合唱や器楽演奏など工夫を凝らした練習の成果を発表してくれました。見ていてとても楽しい時間でした。市の職員の方、先生方、吹奏楽部の生徒さんなど運営に携わってくださった皆さんお疲れ様でした。

コロナ禍においてしばらく開催が見送られている行進曲コンクールですが、今回、瀬戸口藤吉翁記念グランプリコンサートとして、過去にこのグランプリを受賞された松陽高等学校、情報高等学校の吹奏楽部をお招きしてすばらしい演奏会を聞くことができました。多くの市民の方も会場に足を運ばれており、演奏を楽しんでいただけたと感じました。垂水小学校金管バンドの皆さんも、たくさんの高校生と一緒に演奏することができてとてもいい経験になったと思うことでした。

次に人権教育研修会に私も参加をしました。誰もが幸せに生きるために、というテーマで常深透先生の講演を伺いました。人権はとても難しい問題ではありますが、一人一人を認め合い、自分を大切に、また相手も大切にしていける社会が普通の社会であって欲しいと改めて思いました。

また翌日は発達障害を知ろうという講演を聞きました。発達障害は本当にそれぞれに個性があり、それらを理解し、寄り添い、必要な支援をすることが求められますが、その前提には人権で学んだ一人一人を認め合い、大切にすることがあるのだと思うことでした。これは私たちが日常関わっている学校や放課後学童保育の場でも同じで、子供たち一人一人との関わり方について、改めて考える2つの研修になったなと思いました。

福里委員

11月11日、息子の合唱コンクールと娘の持久走大会がありました。同じ日にあったので、息子と娘の出番の時だけを見る形となりました。合唱コンクールは担任の先生が、昼休みに毎回練習をしてくださって、学年の優秀賞を取って、全学年の中の一番上のグランプリを取ることができました。息子たちも先生がとにかく負けず嫌いなので、その負けず嫌いにみんなが乗っかって、すごく喜んでいました。グランプリを取った次の週にも担任以外の先生が2組が歌った後、うちは負けたと思ったとか、そういうふうにご褒めをくださっていらっしゃいましたので、とても喜んでいました。一つの目標に向けて頑張ることの大切さ、力を合わせて頑張る大切さが、この行事でわかったようでした。娘は持久走大会に向けて1か月前から朝のランニングを頑張っていました。そのおかげで一番になったんですけど、新記録にわずか2秒たりず悔しい思いがあったようですが、来年の目標になったようでした。

11月17日は中学校の授業参観とPTAに参加しました。授業参観は2年生3クラス合同の道徳の授業でした。体育館でありましたが学年主任の先生が生徒に向けて、例文をいろいろ読んで、果たしてどういう状況なのかということみんなで考える授業でした。例えば、交通事故に親子があって、親は即死、子供が病院に運ばれたときに、医師がその後の子供を見て、私の子供ですと言いました。さてどういうことでしょうかと先生が問われて、グループで話し合い、みんなの前で発表する形でした。各グループか

らお母さんは不倫をして医師が不倫相手だったとか、医師がその子の母親だったとか、いろんな意見が出ていました。答えは医師が母だったんですが、先生が言いたいことは何かというと、医師と聞いただけで男の人と決め付けていませんか、人のことをイメージや思い込みで接していませんか、ということが一番子供に伝えたいとのことでした。先生が大学時代のときに、恩師の先生に、思い込みは人生を人生で損をするんだよということをおっしゃると子どもに話をしてくださり、SNSであの人はこうだからとか、そういうのを書いて聞いて、思い込みで接したらいけないということでした。授業の内容はすごくよかったなと思いました。PTAの参加率は20名ほどでした。進路の話などがあって参加してよかったなと思いました。例年だと3年生の1学期にする話を2年生の最初で2年生のこの時期に話をしたのは、勉強は3年生になってからでは間に合いませんということをおっしゃって先生が保護者に言いたかったみたいでした。そのほか、受験の仕方や大体これぐらいの点数を取らないといけないなどそういう話があり、事前に知っていれば参加者がもう少し増えたのかなと思いました。

12月8日、小学校のPTAは授業参加がなくPTAだけだったので、娘のクラスの参加者はたったの4人でした。中学校は受験の話が聞けてよかったなと思ったんですが、小学校はまたこの内容かと文章で見てもわかった内容だったので、もう少し工夫されたらいいのかなと思いました。

教育長

教育委員の皆様方が報告いただいたところでございますが、小中合同音楽会良かったです。私は垂水高校の松尾先生の指導が良かったと思っています。小学生、中学生に伝わる具体的な指導で、本当に自信を持ってくれたんじゃないかなと思っています。

それと瀬戸口藤吉翁のグランプリコンサート。一番学んだのは、垂水小の金管バンドの子供達です。あんなふうに演奏したいとか、そういう夢や憧れはどんどん膨らんでいったと思います。

次に子供会大会と一体化した綱引きフェスティバルです。松ヶ崎小学校の発表は、非常にいいプレゼンでした。去年との比較でいうならば、質問コーナーとか或いはソーラン節の動画を取り入れるなど非常に工夫が見られました。次は新城小にバトンタッチし、そのあと開かれた綱引きフェスティバル大会。協和は下学年の部で優勝、上学年の部は柘原小学校、一般は新城と非常にバランスが良かったです。しかも外国の方々も参加され、より国際的な体験になったなと思いました。ちなみに市の職員による綱引き同好会というのがあって、一般の部で参加して準優勝。圧倒的に新城が強かったです。新城はやっぱり先生方が熱心でした。

次に市議会の第4回定例会です。今回は教育委員会4課まんべんなく質問がありました。まず、国体推進課。観客はどれぐらいだったか、宿泊はどれぐらいあったのか、あと、子供たちにとっての教育的な意義も聞かれました。次に経済効果、さらには、今後の期待として、国体の成功をどう生かすかという視点での質問がありました。

次に社会教育課。社会教育課が所管するスポーツ施設関連の改修等に関わる質問を中心に、大山課長が適切に対応していました。どこの施設も老

朽化が進んでいますので、どういう順番でというようなところでしたが、過去も一旦計画をしたが、コロナや国体など少しいレギュラーな部分が出てきたので、改めてまた計画を見直すというよう答弁をしてくれました。

次に学校教育課です。学校教育課にはもうある意味こだわりで、いろんなことを質問してきます。例えば、活字離れと読解力との関連だとか、規範意識についてだとか、外国籍の子供の存在であったり、そういう子が入ってきたらどういう教育をするのかなど。いろんなところにアンテナが張られて質問してこられるなど思いながら、川崎課長の方でこれも的確に回答いただきました。

最後に教育総務課ですが、第4期となる教育振興基本計画について、どういうスケジュールで、どういう方向を向いてやっていくのかという質問がありました。これも適切に対応していただきました。

最後になります。市民館にいらっしゃるときに何かお気づきになりましたか。花壇がきれいになっています。これは大山課長、岩山係長が中心になって、社会教育課、学校教育課、教育総務課、全職員で植え付けしました。岩山係長は、農業の専門ですので、植え方の先生になって耕作から土づくりまでしてくれました。この後の管理をどうぞお楽しみに。

あと3週間で、今年も終わりです。いい年末の休暇とまた新たないい年をお迎えいただければと思っております。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

11月13日から12月11日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、12月12日から1月9日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会